資料３

道央都市圏都市交通調査協議会・幹事会

第2回協議会・第2回幹事会資料

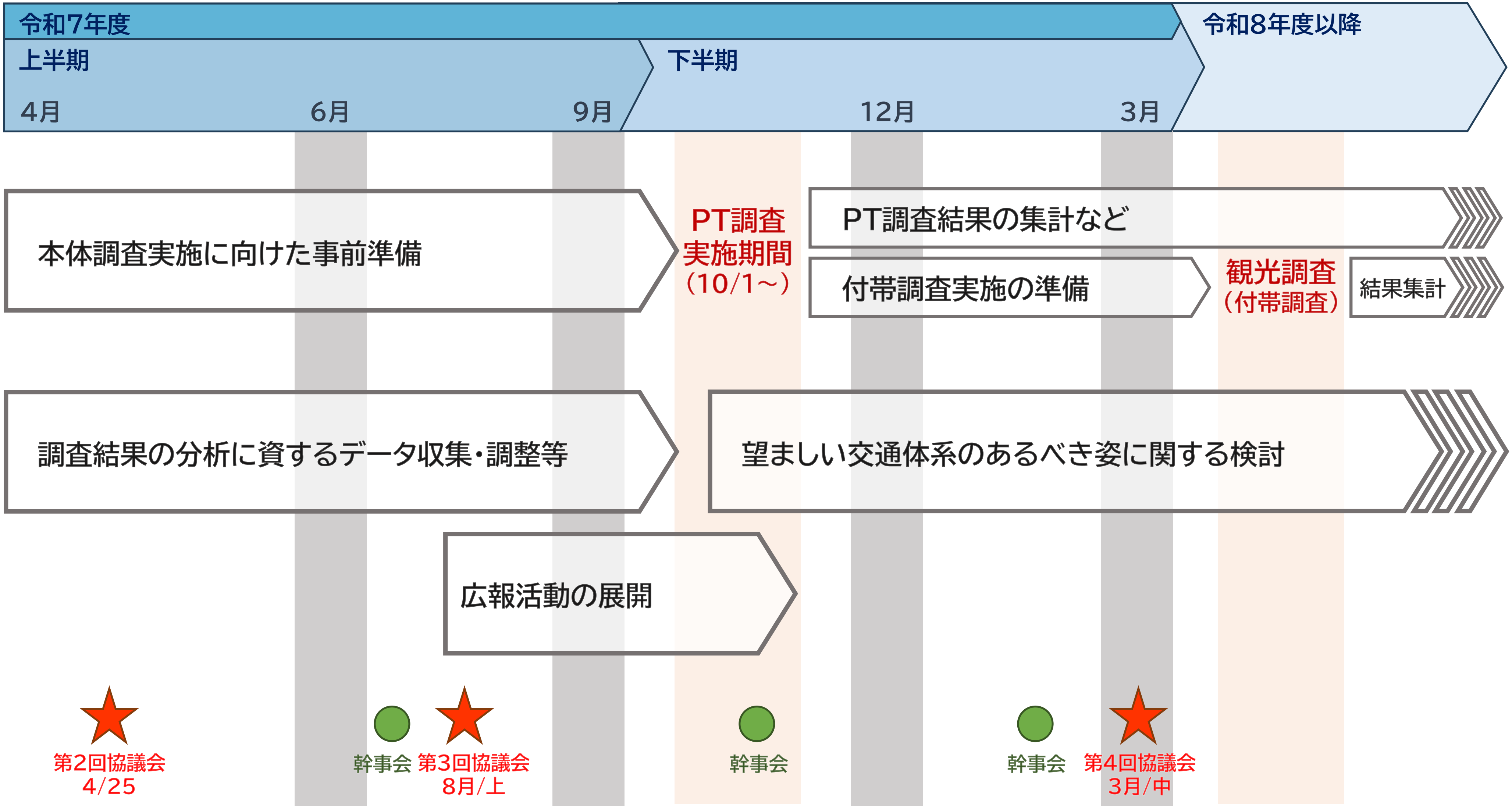
2025.4.25

検討スケジュール,前回協議会でのご意見

協議会の議論・検討に関する全体スケジュール

協議会・幹事会における議題など

- 令和7年度の上半期は、秋の実態調査に向けた準備事項（調査項目・調査方法など）を中心に検討を深める。
- 下半期は、調査票の回収状況等を適宜共有するとともに、将来の望ましい交通のあり方等について議論を深める。
- なお、調査費平準化等の観点から、観光実態調査（付帯調査）は令和8年度に実施する考え。（※詳細は引き続き検討）



前回協議会・幹事会での主なご意見

	第1回協議会におけるご議論・委員ご意見(要約)	検討・整理におけるポイント
調査体系 調査方法	◻ 将来の伸びる需要に対応してきた過去調査とは社会背景が変化しており、**国の新たなガイダンスも参考**にしながら、**複雑多岐の社会問題に対応する必要**がある。 ◻ 経済的な側面も含めて、社会課題を克服し活力を向上させていくためには若い世代の方々が満足いく形で働けることが重要。**若い世代の回収率を高めるような調査**が達成できるとよい。 ◻ 国勢調査や全国道路・街路交通情勢調査(道路交通センサス)など、**同時期に実施される他調査と連携**を図り、**調査対象者に不信感を与えないような配慮**が大切。	➢ 先々の分析・検討を見据えて、**道央都市圏の計画課題、都市交通施策を踏まえた調査になっているか**を改めてチェック。 ➢ 若い世代から必要十分な回答数が得られるよう、調査方法に関する工夫を検討すると共に、**対象者の回答意欲を高めるような広報・インセンティブ**を検討。
調査票	◻ 回答していただく方のみならず、**問合せに対応するスタッフ側の効率化や負担軽減も検討**するべき。 ◻ 調査の**主旨を踏まえた「外出」の定義**をすることや、**義務的活動・非義務的活動の区別をしっかり整理**することで、有用な調査データとなることが期待できる。 ◻ 調査対象日が出張日だったらどのように答えるかなど、**回答者が困らないために記載例を充実させるなど配慮**していただけるとよい。 ◻ 交通手段が多様化している昨今、デマンドバスなど様々な交通手段をどのように答えるか**回答者が悩まないように。我々と認識が合っていることが重要。** ◻ Web調査は、**回答者が直感的に利用しやすいユーザーインターフェースの構築**が重要。順序バイアスなども意識されたシステムづくりを心掛けられたい。 ◻ (その他、調査項目等に関するご指摘があった)	➢ 回答時に悩まないよう**調査対象者の答えやすさに留意**し、調査主旨の説明、記載例の充実、選択肢の明確化など、**全体的な調査の質の向上**を図る。 ➢ サポートセンターの体制などを整理し、**調査実施環境を具体化**させ、調査の流れや問題点を確認。(※他圏域での実績や前回調査の経験などを踏まえる) ➢ 国が開発する**WEB調査システムの検証**を十分に行った上で、道央都市圏における適用性を確認し、**秋の調査実施に間に合うようシステムを構築**。 ➢ 世帯票・個人票・意識調査票の内容を再精査するとともに、封筒やあいさつ文なども含めた**調査物件の確定**。

本日のご議論について

説明用配布資料の構成

- □ 検討スケジュール,前回協議会でのご意見 ・・・・・・・・・・・・・・・・ P1
- □ 調査物件（調査票・記載例・あいさつ状ほか） ・・・・・・・・・・・・・・・・ P5
- □ 調査スケジュールについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P19
- □ 冬の移動実態把握 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P23
- □ WEB調査システム ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P26
- □ 広報計画 ・・ P28

ご議論をいただきたい事項

道央都市圏第5回パーソントリップ調査の調査物件

- □ 前回ご議論を踏まえた修正版調査票（世帯票・個人票・意識調査票）について
- □ 調査対象者のお手元に届く郵送物（封筒・あいさつ状など）について

調査データを活用した分析方法

- □ 拡大処理やモデル作成・冬期補正に有効な様々な統計データ等について

調査物件（調査票・記載例・あいさつ状ほか）

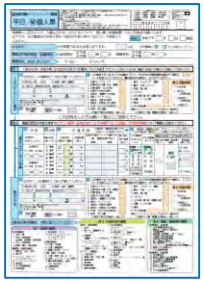
パーソントリップ調査の体系

第5回道央PTにおける実態調査の手法（調査の種類）

■本体調査（トリップ調査）

- **誰が、いつ、どこに**、何の**目的**で、どのような**交通手段**で移動し、どういった**活動**をしたかを把握
- 回答者の属性を把握する「**世帯票**」、トリップ（移動）を把握する「**個人票**」の**2種類の調査票を配布**

▲ 世帯票



▲ 個人票（平日）

■付帯調査

- **本体調査では捉えきれない交通行動や活動意識などを把握**するための調査。**本体調査と組み合わせる**ことで、幅広い分析を可能とする、交通施策のエビデンスを得るなど、**圏域の課題にあわせて内容を設計**
- 調査対象者を半数に分けて、休日の行動を捉える「**日曜調査**」と、意向行動を捉える「**個人意識調査**」を実施
- 加えて、**ETC2.0プローブデータ**や**KLA**※といった複数のビッグデータを活用し、**移動・活動の季節変化**や、**圏域外居住者の動き**を捉える

▲ 個人票（日曜）

▲ 個人意識調査

▲ 様々なビッグデータ（収集のイメージ）

※ KDDI Location Analyzer（GPS位置情報を活用した人流データ）

■補完調査

- 本体調査・付帯調査から整理する**予測モデルの再現性検証**や**拡大係数の設定**等を目的に必要な調査を検討
- **国勢調査、全国道路・街路交通情勢調査（道路交通センサス）、交通管制センターのデータ、各交通事業者が保有するデータ**など様々な統計データ等を活用予定。（不足する場合は実査による補完も検討）

スクリーンライン調査	河川などの閉鎖された断面を通過する交通量を観測する調査
コードンライン調査	自動車で調査圏域外から流出入する圏域外居住者の流動を把握する調査（調査圏域境界で観測）

▼コードンライン調査地点（調査圏域境界）

調査票（個人票…施設の種類）

※手引き：このページでは『調査項目及びデータの標準的な仕様（令和6年6月_国土交通省 都市局 都市計画課）』を指す

ご議論を踏まえた個人票の修正に関する視点

- 他圏域の事例(実際に使われた調査票)や国土交通省が定める手引きを参考に**「施設の種類」等を再整理。**(例:ドラッグストアの追加)
- 整理に際しては、**第4回道央都市圏PT調査との比較が可能となることも考慮。**

前回調査・他圏域の事例 → 今回調査の分類

第4回道央PT調査		山形都市圏		松山都市圏		第5回道央PT調査		
						施設の種類		施設補足
1	住宅・寮	1	住宅・寮	1	住宅・寮	1	住宅・寮	一戸建て住宅、集合住宅、アパート、マンション、寮や下宿
2	学校・教育施設・幼稚園・保育施設	2	学校・幼稚園・保育園	2	学校・教育施設・研究施設	2	学校・教育施設・幼稚園・保育園・研究施設	幼稚園、小・中・高等学校、大学、教習所、専門学校など各種学校、研究所、試験場、塾、けいこ場など
3	文化・宗教施設	3	その他教育施設（塾・予備校・稽古場・学童クラブ等）	3	文化・宗教施設	3	文化・宗教施設	図書館、博物館、美術館、コンサートホール、公民館、市民会館、寺社、教会など
4	医療・厚生・福祉施設	4	病院・診療所・整体院など	4	医療・厚生・福祉施設	4	医療・厚生・福祉施設	病院、診療所、療養所、産院、保健所、保育所、老人ホーム、託児所、浴場、理容・美容院、クリーニング店、コインランドリー、保養所など
		5	福祉施設（高齢者・障がい者・老人ホームなど）					
		6	温泉・浴場（日帰り）					
		7	美容院・クリーニング店など					
		8	図書館・博物館・美術館					
		9	劇場・ホールなど					
		10	公民館・集会所・コミュニティセンター					
5	事務所・会社・銀行	11	事務所・会社・銀行・郵便局・農協	5	事務所・会社・銀行	5	事務所・会社・銀行	事務所、銀行、証券会社、新聞社、放送局、その他商社、設計事務所など
6	官公庁	12	官公庁・警察・消防	6	官公庁	6	官公庁	支庁、市役所、町・村役場、支所、出張所、郵便局、警察署、消防署、公社、公団、気象台、栽培所など各行政団体の施設及び対市民的・公的サービスを行うための施設
		13	問屋・卸売市場	7	問屋・卸売市場			
7	スーパー・デパート	14	スーパー・デパート・ショッピングセンター	8	小型商店（個人商店・コンビニ等）	7	スーパー・デパート・ドラッグストア	スーパーマーケット、デパート、ドラッグストアなど
8	コンビニエンスストア	15	コンビニエンスストア	9	大型商店（大型スーパー、デパート等）	8	コンビニエンスストア	コンビニエンスストア
9	飲食店	16	その他小売店（コンビニを除く）	10	飲食店	9	飲食店	食堂、喫茶店、カフェ、レストラン、居酒屋など
10	その他商業施設（個人商店）	17	産直市場	11	その他商業施設（個人商店）	10	その他商業施設	小規模小売店舗、ガソリンスタンド、卸売問屋、卸売市場などの各種市場
		18	飲食店					
11	娯楽施設	19	宿泊施設・ホテル	12	宿泊・娯楽施設	11	娯楽施設	バー、インターネットカフェ、クラブ、劇場、映画館、ボーリング場、ゴルフ練習場、遊園地、動物園、植物園、水族館など
12	宿泊施設・ホテル	20	娯楽施設			12	宿泊施設・ホテル	旅館、ホテル、宿泊所など
						13	コワーキングスペース・レンタルオフィス・シェアオフィス	コワーキングスペース、共有オフィス、貸し会議室など
13	工場・作業場	21	工場・倉庫	13	工場・作業場	14	工場・作業場	各種工場、作業場など
14	交通・運輸施設	22	交通施設（駅・バス停・空港など）	14	交通・運輸施設	15	交通・運輸施設	鉄道駅、空港、港湾、停留所、車庫、バスターミナル、駐車場など
15	倉庫・物流ターミナル	23	研究所・試験所	15	供給・処理施設	16	倉庫・物流ターミナル	倉庫、貯蔵所、資材置場、配送ターミナルなど
				16	倉庫			
16	公園・緑地	24	公園・緑地・海・山・川	17	公園・緑地	17	公園・緑地・海・山・川	公園、緑地、海、山、川などの自然地
		25	遊園地・動植物園・水族館					
17	体育・レクリエーション施設	26	スポーツ施設	18	体育・レクリエーション施設	18	体育・レクリエーション施設	体育館、競技場、野球場、ゴルフ場、テニスコートなど
18	農林漁業作業地・施設（田畑も含む）	27	農林漁業の現場	19	農林漁業作業地・施設	19	農林漁業作業地・施設（田畑も含む）	農場、牧場、家畜飼育所、水産養殖場、田畑、山林、漁場など
19	工事現場等			20	工事現場等・その他	20	工事現場等	工場現場など
20	その他	28	その他			21	その他	ごみ処理場、発電施設、ガス供給所、上下水道施設、火葬場、し尿処理施設など上記1～20に該当しない施設

※「施設補足」は調査票に同封する『調査票の記入のしかた』に掲載予定

【今回の施設の種類】

【生活系施設】
1. 住宅・寮
2. 学校・教育施設・幼稚園・保育園・研究施設
3. 文化・宗教施設
4. 医療・厚生・福祉施設

【事務所・商業系施設】
5. 事務所・会社・銀行
6. 官公庁
7. スーパー・デパート・ドラッグストア
8. コンビニエンスストア
9. 飲食店
10. その他商業施設
11. 娯楽施設
12. 宿泊施設・ホテル
13. コワーキングスペース・レンタルオフィス・シェアオフィス

【工業系施設】
14. 工場・作業場
15. 交通・運輸施設
16. 倉庫・物流ターミナル

【公園・緑地・その他】
17. 公園・緑地・海・山・川
18. 体育・レクリエーション施設
19. 農林漁業作業地・施設（田畑も含む）
20. 工事現場等
21. その他

※赤字は追加および表現を修正したもの

調査票（個人票…交通手段の種類）

※手引き：このページでは『調査項目及びデータの標準的な仕様（令和6年6月_国土交通省 都市局 都市計画課）』を指す

ご議論を踏まえた個人票の修正に関する視点

- 交通手段分類は、近年の交通環境を踏まえて編纂された**国土交通省の手引きに記載の標準分類を基本とする。**
- 加えて、**道央都市圏における交通体系など地域特性を踏まえ**、今回調査の交通手段の種類を設定。

前回調査の実績・ガイダンスの分類 → 分類の視点 → 今回調査の分類

第4回PT調査	調査項目及びデータの標準的な仕様による標準手段分類			分類の視点	今回の交通手段の種類
	大分類	中分類	小分類		
JR	鉄道	鉄道	鉄道・地下鉄	道央都市圏で運行されているJR、地下鉄、路面電車、ロープウェイ、ケーブルカーを区分 地下鉄の利用者数を把握するために、JRと地下鉄を区分	鉄道
地下鉄					地下鉄
路面電車			路面電車		路面電車
			モノレール・新交通		ロープウェイ、ケーブルカー等
			新幹線		
路線バス（含都市間バス）	路線バス	路線バス・コミュニティバス	路線バス、BRT	既定の路線で不特定多数を輸送しているバスを区分	都市間バス・路線バス・コミュニティバス
			コミュニティバス		
			高速バス、都市間バス		
タクシー・ハイヤー	タクシー・送迎バス等	タクシー・ハイヤー	タクシー、ハイヤー	標準分類の中分類で区分	タクシー・ハイヤー
			介護タクシー、福祉有償運送		
				道央都市圏内で運行開始	ライドシェア
		デマンド交通等	乗合タクシー	近年、導入されているため、乗合タクシー・デマンドバス等としてく区分	デマンド交通（乗合タクシー、デマンドバス等）
			デマンドバス		
		送迎バス・サービス	自家用バス、貸切バス、企業や学校等の送迎バス・スクールバス、病院・商業施設が運行する送迎バス、福祉バス	特定の利用目的の送迎サービスは送迎バスとして区分	送迎バス（スクールバス、福祉バス等）
自家用バス、貸切バス（含送迎バス）				有料の送迎サービスは観光バス、貸切バスに区分	観光バス、貸切バス
乗用車	自動車	乗用車	乗用車	標準分類の小分類で区分	乗用車
軽乗用車			軽乗用車		軽乗用車
貨物自動車（含ライトバン）		貨物車	貨物自動車（ライトバンを含む）・大型トラック・小型トラック		貨物自動車
軽貨物車			軽貨物車・軽トラック（特殊自動車含む）		軽貨物車
		レンタカー・カーシェアリング	レンタカー	利用は個人票の設問⑷「どの自動車を利用したか」で把握	
			カーシェアリング		
スクーター等の自動二輪車（50CC以下）	原付・バイク	原付・バイク	原動機付二輪車（50CC以下）・スクーター、原付バイク	道路交通法の改正（2025年4月1日）を踏まえて区分	二輪（原付）
オートバイ等の自動二輪車（50CCをこえる）			自動二輪車（50CC超過）・オートバイ		普通二輪・大型二輪
自転車（含電動アシスト付き）	自転車	自転車	自転車（電動アシスト付、キックボード含む）	標準分類の中分類、小分類で区分	自転車（電動アシスト付含む）
		レンタサイクル・シェアサイクル	レンタサイクル、シェアサイクル、コミュニティサイクル		レンタサイクル・シェアサイクル
		パーソナルモビリティ（電動キックボード等）	電動キックボード		パーソナルモビリティ（電動キックボード等）
			その他パーソナルモビリティ		
徒歩	徒歩・車いす	徒歩・車いす	徒歩	標準分類の中分類で区分	徒歩
車いす（含原動機付き）			車いす		車いす、電動車いす、シニアカー
			電動車いす、シニアカー、電動三輪車		
船舶	その他	船舶、フェリー	船舶、フェリー	道央都市圏の内外交通で利用があるため、標準分類の小分類で区分	船舶
航空機		航空機	航空機		航空機
		その他	その他パーソナルモビリティ	その他へ	
その他					その他

【今回の交通手段の種類】

【徒歩・自転車等】
1. 徒歩
2. 車いす、電動車いす、シニアカー
3. 自転車（電動アシスト付き含む）
4. レンタサイクル・シェアサイクル
5. パーソナルモビリティ（電動キックボード等）

【バイク・自動車】
6. 二輪（原付）
7. 普通二輪・大型二輪
8. 軽乗用車
9. 乗用車
10. 軽貨物車
11. 貨物自動車

【公共交通等】
12. タクシー・ハイヤー
13. ライドシェア
14. 都市間バス・路線バス・コミュニティバス
15. 送迎バス（スクールバス、福祉バス等）
16. 観光バス、貸切バス
17. デマンド交通（乗合タクシー、デマンドバス等）
18. 路面電車
19. 地下鉄
20. 鉄道
21. ロープウェイ、ケーブルカー等

【その他】
22. 航空機
23. 船舶
24. その他

※赤字は追加および表現を修正したもの

調査票(個人票…駐車・駐輪場の種類)

※手引き:このページでは『調査項目及びデータの標準的な仕様(令和6年6月_国土交通省 都市局 都市計画課)』を指す

ご議論を踏まえた個人票の修正に関する視点

- 「駐車場・駐輪場の利用実態把握」は**圏域が独自に設定する任意調査項目**となる。(手引き等に標準分類の記載なし)
- 道央都市圏では、第4回PT調査との比較を考慮すると共に、近年の利用実態を勘案し追加項目を設定。
- 加えて、**回答のしやすさに配慮**し、日常生活に身近な選択肢(自宅車庫等)が先に来るように順番を最適化。

前回調査の事例 → 今回調査の分類

	第4回道央PT調査		第5回道央PT調査	
駐車	1	月極駐車場	5	月極駐車場
	2	時間貸し駐車場(含料金割引あり駐車場)	6	時間貸し駐車場(1回ごと含む)
	3	路上駐車場(ﾊﾟｰｷﾝｸﾞﾁｹｯﾄ)	9	路上駐車場(パーキングチケット)
	4	店舗施設等有料駐車場(含料金割引あり駐車場)	7	店舗等の有料駐車場
	5	自宅車庫	1	自宅車庫(敷地内含む)
	6	勤務先・訪問先敷地内	2	勤務先・訪問先の敷地内
	7	店舗施設等無料駐車場	3	店舗等の無料駐車場
	8	他の空き地等	11	その他駐車場所
			8	シェアリング駐車場(個人宅の車庫など)
	9	路上(含駅前広場)	4	路上(駅前広場含む)
	10	駐車せず(停車のみ)	10	駐車せず(停車のみ)
駐輪			12	自宅敷地内
	11	駅前広場等の公共駐輪場(含路上の駐輪場)	13	駅前広場等の公共駐輪場
	12	公共施設の付属駐輪場(各学校・病院の駐輪場)	14	公共施設の付属駐輪場
	13	店舗等の民間駐輪場	15	店舗等の民間駐輪場
	14	路上・歩道上	16	路上・歩道上
	15	訪問先の敷地内	17	訪問先の敷地内
	16	他の空き地等	19	その他駐輪場所
			18	シェアサイクル専用ポート

【今回の駐車・駐輪場の種類】

【駐車場所・駐車場】
1. 自宅車庫(敷地内含む)
2. 勤務先・訪問先の敷地内
3. 月極駐車場
4. 時間貸し駐車場(1回ごと含む)
5. 店舗等の無料駐車場
6. 店舗等の有料駐車場
7. 路上(駅前広場含む)
8. 路上駐車場(パーキングチケット)
9. シェアリング駐車場(個人宅の車庫など)
10. 駐車せず(停車のみ)
11. その他駐車場所

【駐輪場所・駐輪場】
12. 自宅敷地内
13. 駅前広場等の公共駐輪場
14. 公共施設の付属駐輪場
15. 店舗等の民間駐輪場
16. 路上・歩道上
17. 訪問先の敷地内
18. シェアサイクル専用ポート
19. その他駐輪場所

※赤字は追加および表現を修正したもの

調査票（個人票…活動把握の項目）

参照：第9回 新たな都市交通調査愛系のあり方に関する検討会資料（国土交通省都市局）をもとに整理

活動把握項目の整理

- 活動把握に係る選択肢（活動の具体例）は、国が示す**「調査項目及びデータの標準的な仕様」を参考に検討**し設定。
- 国の検討資料では**「非義務的活動の実施可否」に着目**し、**他調査における分類と対比した整理がなされている**。

国の検討資料による分類	今回調査の分類	参考

分類		活動	第5回PT調査の活動の分類	社会生活基本調査の分類	TRB（2014）
義務	維持活動	睡眠	睡眠	1次活動	在宅活動
		家事・育児・介護・看護・身支度・自宅等での食事	自宅等での食事・家事・育児・介護看護・身支度	1次活動 2次活動	
	仕事・学校	仕事（デスクワーク）	仕事（デスクワーク）	2次活動	必須活動
		（会議・打合せ・営業等）	仕事（対面での会議・打合せ・営業等）		
		（販売・仕入れ等）	仕事（販売・仕入れ等）		
		（その他の仕事）	仕事（その他の仕事）		
		学業	通学先・通園先での学習		
	維持活動	食料品・日用品の買物	食料品・日用品の買物		維持活動
		つきそい	つきそい		
		通院・デイサービス	受診・デイサービス	3次活動	
非義務的活動		食料品・日用品以外の買物	食料品・日用品以外の買物		裁量活動
		外食・社交	外食・社交（SNS利用含む）		
		娯楽・文化活動	娯楽・文化活動		
		運動・散歩・ジョッギング	散歩・ジョッギング・運動		
		観光・行楽・レジャー	観光・行楽・レジャー		
		塾・習い事・学習	学習・習い事		
		その他私事	その他私事		
		休養・くつろぎ等自由な時間	休養・くつろぎ等		在宅活動

社会生活基本調査における活動の分類

分類分類	活動活動
1次活動	睡眠
	身の回りの用事
	食事
2次活動	通勤・通学
	仕事（収入を伴う仕事）
	学業（学生が学校の授業やそれに関連して行う学習活動）
	家事
	介護・看護
	育児
	買い物
3次活動	移動（通勤・通学を除く）
	テレビ・ラジオ・新聞・雑誌
	休養・くつろぎ
	学習・自己啓発・訓練（学業以外）
	趣味・娯楽
	スポーツ
	ボランティア活動・社会参加活動
	交際・付き合い
	受診・療養
	その他

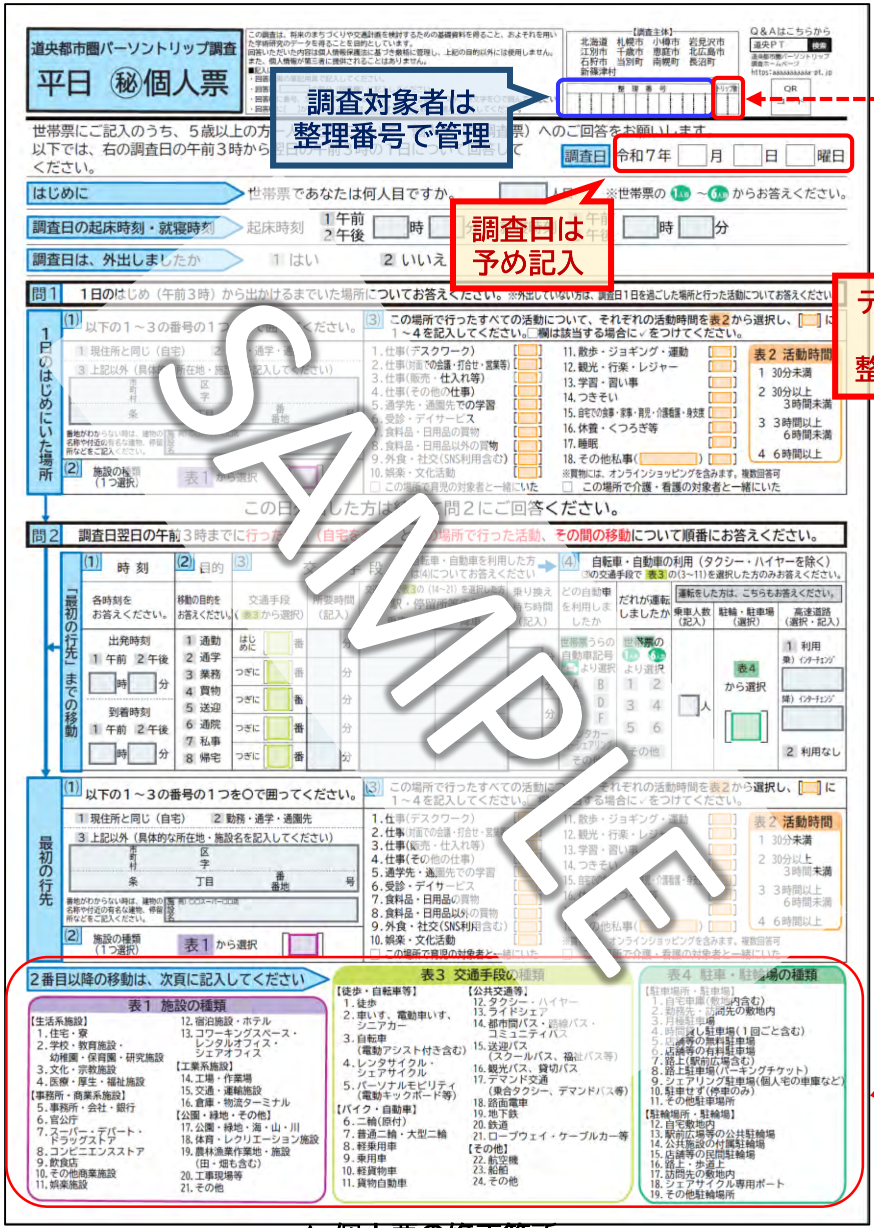
※交際のための食事は「交際・付き合い」

※赤字は追加および表現を修正したもの

※TRB（2014）：Activity-Based Travel Demad Models:A Primera（2014）

調査票（世帯票と個人票の修正箇所）

世帯票と個人票の修正箇所まとめ

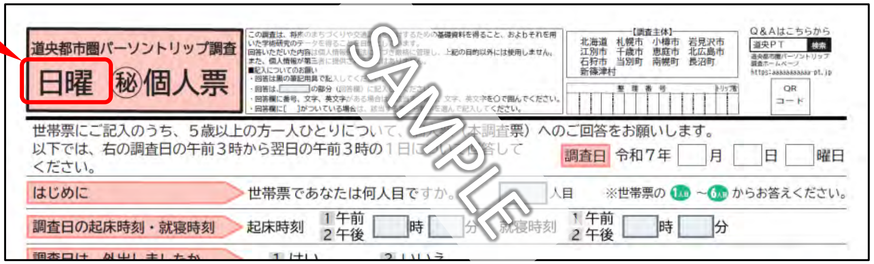


データ管理のため
トリップ数欄を
整理番号横に追加

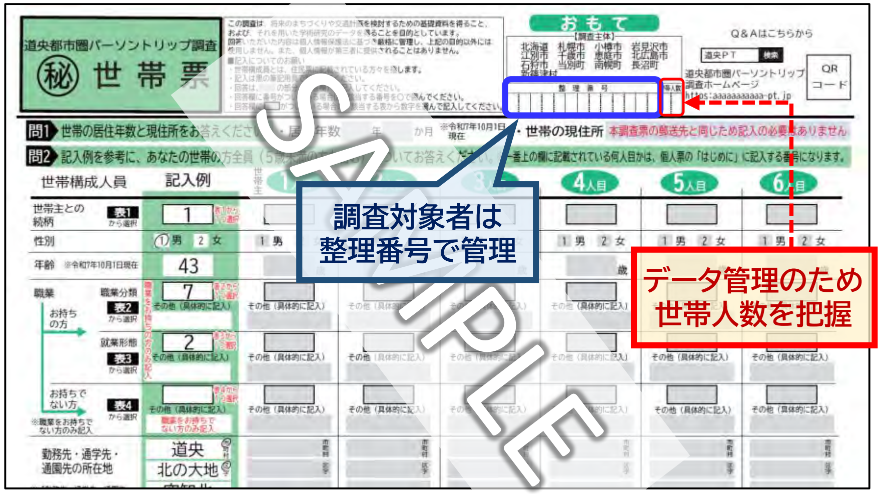
施設の種類、
交通手段の
種類、駐車・
駐輪場の種
類を再編

▲ 個人票の修正箇所

休日を
日曜に変更



▲ 日曜調査への対応（変更点）

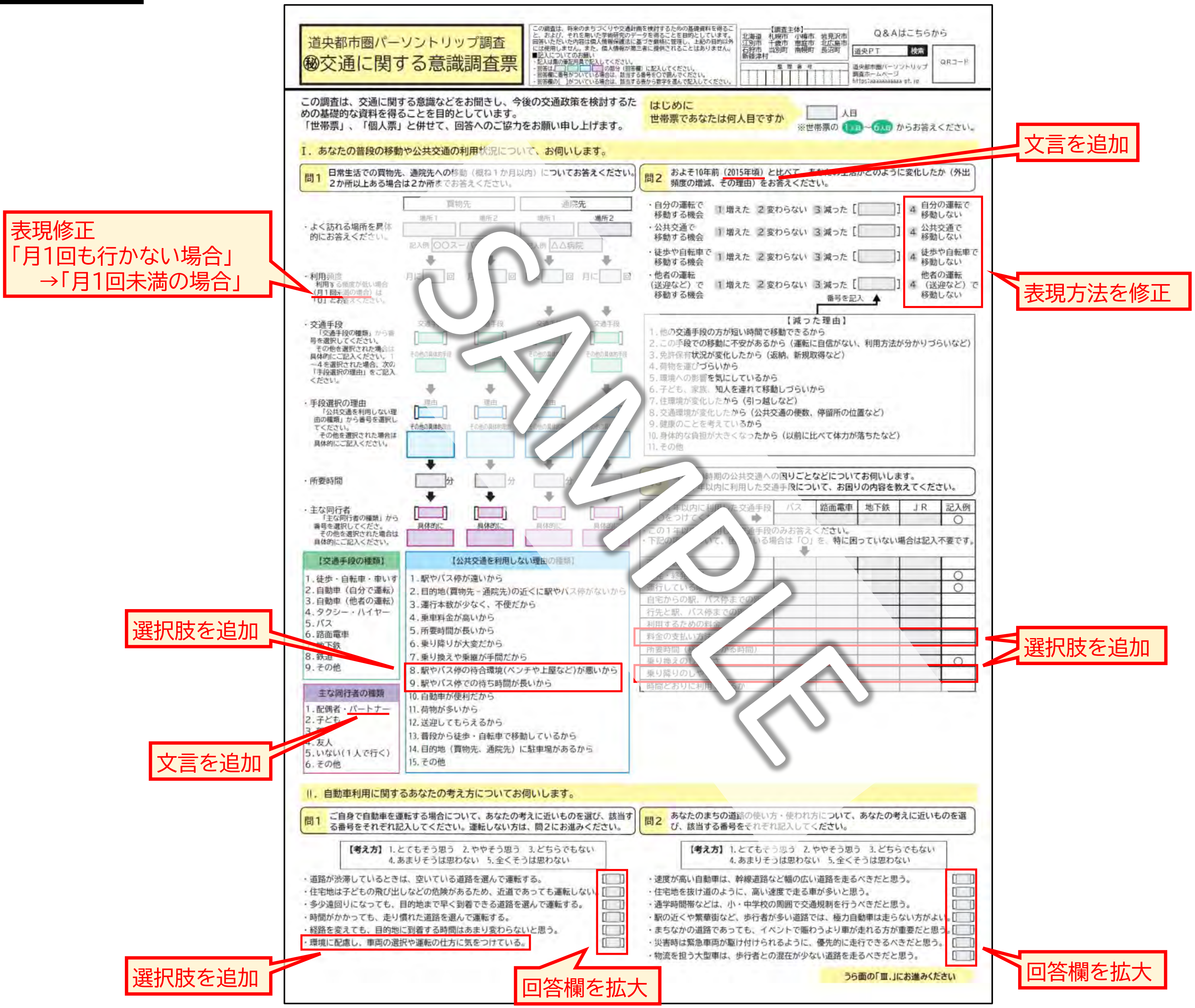


▲ 世帯票の修正箇所

調査票（意識調査票の修正箇所）

意識調査票の修正箇所

※個別に抜き出した箇所のほか、「誤字・脱字の修正」や「表現の適正化」などを全体的に実施



調査票（意識調査票の修正箇所）

意識調査票の修正箇所

※個別に抜き出した箇所のほか、「誤字・脱字の修正」や「表現の適正化」などを全体的に実施

表現方法を修正

外出する理由も答えるように修正

選択肢を追加

表現修正
「インターネット」→「オンライン上」

撮影年月を追加

表現修正
「食料品などはある程度備蓄」→「食料や水を備蓄」

選択肢を追加

1 移動できそうになかったので外出での用事をやめた
7 仕事や買物が行えないため外出をやめた
同様の意味であるため、7を削除

表現修正
「インターネット」→「オンライン上」

問3から問5へ移動

表現修正
「インターネット」→「オンライン上」

設問追加

ⅤからⅣ．問5へ変更

表現方法を修正

選択肢を拡大

調査票（調査物件）

調査物件の特徴（お願いはがき）

- 札幌市バージョンとそれ以外の自治体バージョンの2パターンを作成。
- 札幌市バージョンでは知事と市長、それ以外の自治体バージョンでは知事の写真を掲載。

凡例：[点線枠] 調査パターン毎に異なる箇所

【表面：札幌市バージョン】

郵便はがき

料金後納
郵便

マーク 北海道　マーク 札幌市

道央都市圏パーソントリップ調査
ご協力のお願い

この調査結果につきましては、今後の交通やまちづくりの検討に活用いたします。

お問い合わせ先
道央都市圏パーソントリップ調査サポートセンター
TEL 0120-○○○-○○○○ (9:00～17:00 土日祝休)
〒○○○－○○○
札幌市○○区○○町○番○号 ○○ビル○階
（調査受託者：○○○○○○○）

調査実施に関する お問い合わせ先
北海道 建設部 まちづくり局 都市計画課
TEL 011-○○○-○○○○
札幌市 まちづくり政策局 総合交通計画部 交通計画課
TEL 011-○○○-○○○○

調査主体
北海道　札幌市　小樽市　岩見沢市　江別市
千歳市　恵庭市　北広島市　石狩市　当別町
南幌町　長沼町　新篠津村

【返還先】 〒○○○－○○○ 札幌市○○区○○町○番○号
○○○○○○○○○○

【裏面：札幌市バージョン】

**道央都市圏パーソントリップ調査に
ご協力をお願いします**

日ごろより、道央都市圏のまちづくりに格別のご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、北海道と道央の12市町村が協力し、道央都市圏にお住まいの皆さまのある１日における移動と活動を把握する調査を実施いたします。

いただいたご回答は、将来の交通やまちづくりの検討に役立ててまいります。

なお、この調査の対象者は、道央都市圏にお住まいの方の中から、あなたのご家庭をはじめとする約24万世帯の方を無作為に抽出させていただきました。

つきましては、本はがきの到着から約２週間後に調査票を封入した封筒をお送りいたしますので、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力いただけますようお願い申し上げます。

令和７年○月○日

知事写真　市長写真

北海道知事 鈴木直道　札幌市長 秋元克広

【表面：札幌市以外バージョン】

郵便はがき

料金後納
郵便

マーク 北海道

道央都市圏パーソントリップ調査
ご協力のお願い

この調査結果につきましては、今後の交通やまちづくりの検討に活用いたします。

お問い合わせ先
道央都市圏パーソントリップ調査サポートセンター
TEL 0120-○○○-○○○○ (9:00～17:00 土日祝休)
〒○○○－○○○
札幌市○○区○○町○番○号 ○○ビル○階
（調査受託者：○○○○○○○）

調査実施に関する お問い合わせ先
北海道 建設部 まちづくり局 都市計画課
TEL 011-○○○-○○○○

調査主体
北海道　札幌市　小樽市　岩見沢市　江別市
千歳市　恵庭市　北広島市　石狩市　当別町
南幌町　長沼町　新篠津村

【返還先】 〒○○○－○○○ 札幌市○○区○○町○番○号
○○○○○○○○○○

【裏面：札幌市以外バージョン】

**道央都市圏パーソントリップ調査に
ご協力をお願いします**

日ごろより、道央都市圏のまちづくりに格別のご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、北海道と道央の12市町村が協力し、道央都市圏にお住まいの皆さまのある１日における移動と活動を把握する調査を実施いたします。

いただいたご回答は、将来の交通やまちづくりの検討に役立ててまいります。

なお、この調査の対象者は、道央都市圏にお住まいの方の中から、あなたのご家庭をはじめとする約24万世帯の方を無作為に抽出させていただきました。

つきましては、本はがきの到着から約２週間後に調査票を封入した封筒をお送りいたしますので、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力いただけますようお願い申し上げます。

令和７年○月○日

知事写真

北海道知事 鈴木直道

札幌市以外は
知事の写真のみ掲載

SAMPLE
SAMPLE

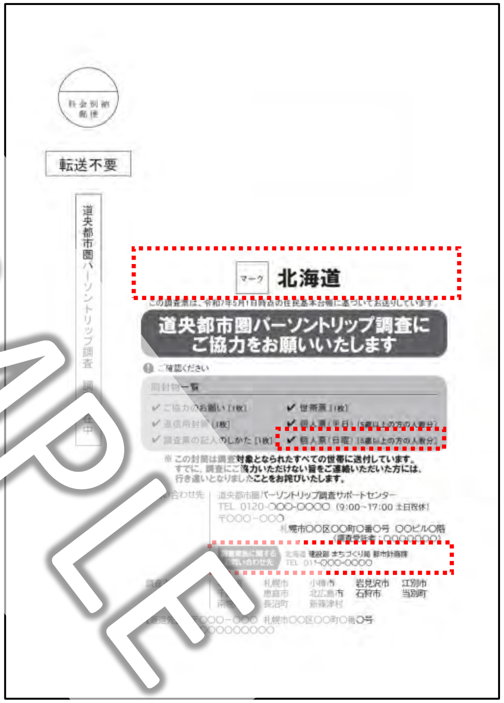
調査票（調査物件）

調査物件の特徴（送付用封筒）

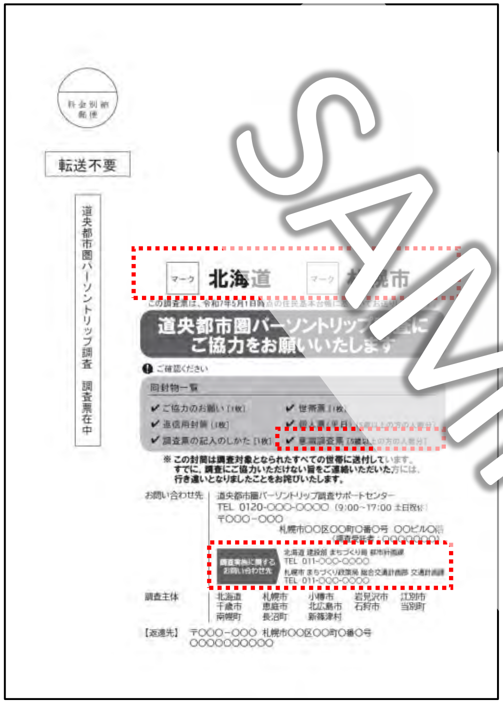
- ☐ 札幌市バージョンとそれ以外の自治体バージョンの2パターン、付帯調査の種類により2パターンの計4パターンを作成。
- ☐ 宛名はシールに印刷したラベルを貼付することを基本とする。

【札幌市、日曜調査バージョン】

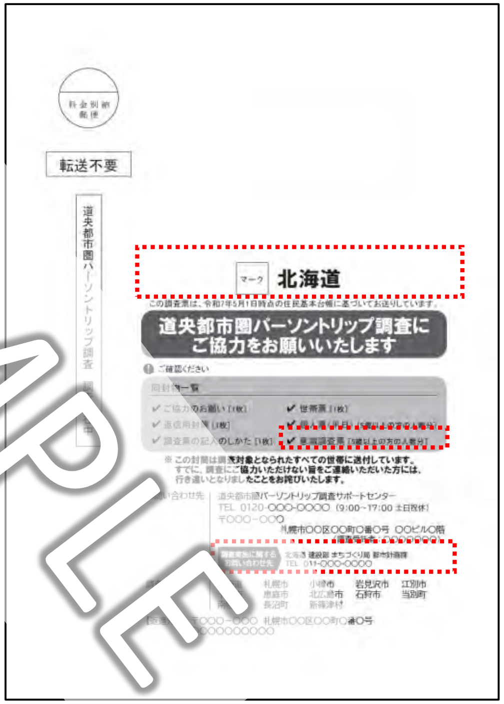
【札幌市以外、日曜調査バージョン】



【札幌市、意識調査バージョン】



【札幌市以外、意識調査バージョン】



宛名貼付位置
※ラベルシールを想定

凡例： ┆　┆ 調査パターン毎に異なる箇所